

～別府市介護支援専門員協会からのお願い～

会員情報は正しく、
最新のものに更新を

会員情報は各種研修会の案内送付などの会員サービス以外にも、各種統計データの作成にも活用される根拠資料の基盤となる大事なデータです。住所や勤務先が変わった時は、事務局へご連絡くださいますようお願いします。



新規会員募集中!!

別府市介護支援専門員協会では現在 **128名** の介護支援専門員が会員として、各種研修会や意見交換会、各関係機関との連携などで活動しています。
入会がお済でない方は是非、別府市介護支援専門員協会の会員として一緒に活動してみませんか？

【お申込み・お問い合わせ】 別府市介護支援専門員協会 事務局
TEL: 0977-67-3356 FAX: 0977-66-5533



賛助会員の皆様

社会福祉法人貴船会大観苑 / 株式会社エヴァライフベストケア別府
社会福祉法人恵愛会高齢者ケアセンター茶寿苑 / 株式会社BLSエミナス鉄輪
吉賀循環器内科 / (株)大一薬品くろーばー薬局 / 社会福祉法人亀鶴会偕楽園
有限会社三和住宅 / (有)キムラ薬局 / アルファ薬局 / 太陽調剤薬局
株式会社MISORA / 医療法人安部第一医院 / (有)ブンゴヤエンタープライズ
有限会社介護ショップグロちゃん / 社会福祉法人豊心会和幸苑 / 一般社団法人薬剤師会
有限会社なの花 / 株式会社ライト・ケア有料老人ホーム大宮司 / 有限会社大分タキ
ヨシムラ薬局 / 医療法人聡明会児玉病院 / あき調剤薬局別府店 / エフゼロシステム(株)
社会福祉法人生愛会 / 医療法人百善会村橋病院 / 社会福祉法人一燈園 / 有限会社恵の会
医療法人オムニス / 医療法人慈愛会やまなみ苑 / 社会福祉法人白鳳会
サービス付き高齢者向け住宅ローズガーデン野口元町 / Gillieve(ギリブ)
医療法人玄々堂別府湾腎泌尿器科病院 / トータルケアデザイン株式会社 (順不同)

別府市介護支援専門員協会は賛助会員の皆様方のご支援、ご協力の一部運営を行えています。
ありがとうございます。(会員一同)

別府市介護支援専門員協会
会報誌 vol.8BCPの理解を深めて、
いざという災害に備えよう

令和5年1月21日(土)、特定非営利活動法人 大分県介護支援専門員協会(災害対策委員会・災害支援ケアマネジャー)ケアプランセンターこくぶ 國分昭夫氏(主任介護支援専門員 社会福祉士 介護福祉士)を講師としてお招きしました。
令和3年4月に施行された「令和3年度介護報酬改定における改定事項について」内で、令和6年からBCP(事業継続計画)の策定が全ての介護サービス事業者に義務付けられ、残すところ1年となりました。
新型コロナウイルスなどの感染症の流行や、自然災害などが頻発する日本において、介護事業所の利用者・職員を守るための計画策定や訓練のポイントについてご講演いただきました。
【リモート研修 44名参加】

災害対応マニュアル

第5版

今回の研修会で紹介された、災害対応マニュアル第5版(令和3年8月28日発刊)では、大雨洪水、感染症、また令和3年度介護報酬改定により全介護サービス事業者に策定が義務付けられた「BCP」等について詳細に解説されています。
「災害対策机上訓練シナリオ」が掲載されている第4版も継続して販売されています。
ご注文は一般社団法人 日本介護支援専門員協会ホームページからでもご注文できます。



課題整理総括表・評価表 ～内容理解し積極的に活用しよう～

令和4年2月5日(土)、特定非営利活動法人 大分県介護支援専門員協会より、特別養護老人ホーム花月園 宮崎和美氏(主任介護支援専門員 社会福祉士 看護師)、介護保険サービスセンターこが 阿南富貴子氏(主任介護支援専門員 社会福祉士 介護福祉士)を講師としてお招きし、介護支援専門員が専門職として利用者の状態などを把握し、情報の整理・分析などを通じて課題を導き出した過程について「見える化」するツールである課題整理総括表の活用方法やポイントについてご講演いただきました。【リモート研修 34名参加】



令和4年度 別府市介護支援専門員協会 通常総会



令和4年6月18日(土)、新型コロナウイルス感染防止のため、会場とweb(Zoom)を使用してのハイブリット形式で通常総会が開催され、① 令和3年度事業報告・② 令和3年度決算報告・③ 令和4年度事業計画(案)・④ 令和4年度収支予算(案)・⑤ 規約の一部改正(案)の5議案について審議が行われ承認されています。

職員が相談しやすい職場づくり ～ハラスメント対策を考える～



通常総会の後、大分県を中心に人材育成・人材定着の企業研修など幅広く活躍されている、研修講師 中尾えがお氏にご登壇いただきました。
令和元年、令和3年と以前もご講演いただいておりますが、今回は職場でのハラスメントに関する知識を深めていきながら、相談しやすい職場づくりについて、ご自身の経験談なども踏まえご講演いただきました。
【ハイブリット研修 49名参加】

精神科医療の実態 ～制度的観点から患者支援を考える～



令和4年8月5日(土)、国立病院機構 別府医療センター地域連携室 荒金智子氏(精神保健福祉士 社会福祉士)、認知症疾患医療センター 樺島浩氏(精神保健福祉士)を講師としてお招きしました。
日本における精神疾患を有する総患者数は約420万人(日本人の約30人に1人)生涯を通じて5人に1人がこころの病気にかかるともいわれています。
また、65歳以上の認知症の人の数は令和7年(2025年)には約700万人(高齢者の約5人に1人)が認知症になると予測されています。
今後、ますますニーズが増加するなか、介護支援専門員として求められる精神科医療の制度の知識や、医療機関への受診、連携方法などをご講演いただきました。
【リモート研修 65名参加】

～別府市介護支援専門員協会の活動～

来年度より、別府市が行う中央ケア会議での要介護状態の事例検討において課題整理総括表を採用していきたいとのことで、令和5年2月15日(水)、別府市役所で開催された包括支援センター連絡会において課題整理総括表についての研修講師派遣を行いました。

